

拡充します

令和8年度

プラスワンスタディは、高校生が小中学生の補充学習の指導補助などを行う事業で、異校種の交流を通して、学習意欲の向上やキャリア教育に寄与してきました。

プラスワンスタディを、時代の変化に対応しつつ今後も更なる充実した取組とするため、令和8年度から拡充します。

プラスワンスタディ

小中学校の児童生徒

- ・高校生との交流を通して、学習意欲の向上



高等学校の生徒

- ・将来のキャリアを考える機会を増やすことで、“教える”“学ぶ”楽しさに触れる
- ・キャリア教育の充実

拡充のポイント

①B活動(高校生による語りかけ)を追加

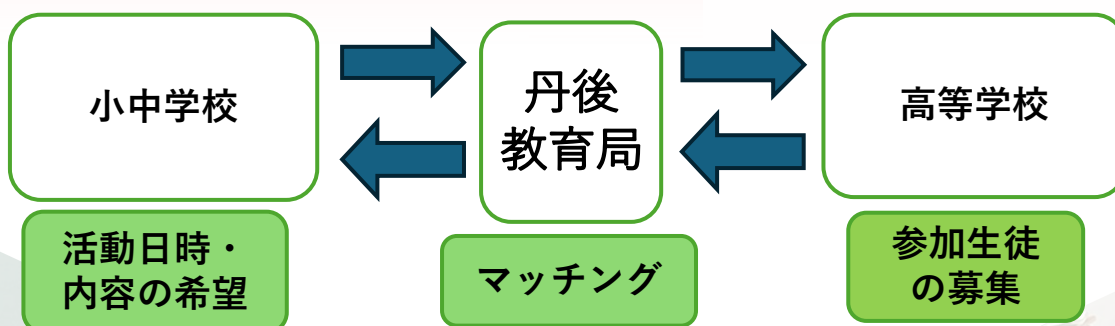
- ・先輩からのアドバイス、今頑張っていることなど、内容は学校毎に様々
短時間でも高校生の生の話を聞けることで、小中学生の学びに向かう意欲が向上
授業後に高校生が小中学生から質問されるなど、心温まる新たな交流が生まれる

②マッチング回数が増加

・主な活動期間

夏季休業中

3月中旬



**みらいへつながる
学びのバトン**

令和7年度の取組

プラスワンスタディ

夏季休業中を中心に、小・中学校で実施される学力充実に係る取組に、高校生が参加し、指導補助を行いました。今年度は、小学校10校、中学校3校の申込があり、6つの高等学校から高校生が参加しました。



プラスワンスタディα(試行)

児童生徒の学習意欲の向上やキャリア教育等において効果を上げてきたプラスワンスタディを、より充実した取組とすべく、実施期間や実施内容を拡充した取組として試行しました。

【実施内容】

A活動	B活動
(1)補充学習の指導補助 (2)授業時間内の活動 (年間の総復習等) (3)その他、試行実施目的達成のために行う取組	(1)高校生による講話 (2)高校での学習成果の発表 (3)その他、試行実施目的達成のために行う取組

【B活動の内容】

- 「小学校の思い出や学習方法、将来の夢」についてのプレゼンテーション
- 「探究学習による学びの成果」の発表と質疑応答
- 「小学生の春休みにやるべきこと・進学への心構え」をテーマに、中学校進学間近の6年生への講話 等



プラスワンスタディα 参加校からの声



小中学校

◆A活動

- ・いつも以上に集中して課題に向かうことができた。
- ・高校生が丁寧に教えてくれたので、学習内容の理解が深まった。

◆B活動

- ・ロールモデルである高校生と交流することで、児童が自分の将来や進路について考えるきっかけとなった。
- ・高校で進めている探究活動についてプレゼンテーションしてもらうことで、探究に興味をもつ機会となった。
- ・小学校6年生に対して、中学校に向けての心構えを話していただき、将来への見通しや展望をもつことができた。
- ・学習以外でも高校生に声をかけてもらえる機会があり、楽しみながら交流を深めることができた。

高等学校

- ・教えることや伝えることの面白さや難しさが分かり、将来、教職を目指す生徒にとって貴重な機会となった。
- ・教員を目指しているわけではないが、年齢の異なる様々な人と話す機会として意義があると思って参加した。コミュニケーションの楽しさや難しさを学ぶことができた。
- ・自分のことを話す機会は貴重だと思って参加した。緊張したが参加してよかった。
- ・母校に関わることができ良かった。教えるつもりだったが学ぶことが多かった。

